



【水辺の楽しみ情報(川の自慢、見どころ 等)】

諫早市の市街地を流れる一級河川本明川は、美しく穏やかで、古くから「諫早の母なる川」とも呼ばれ市民に親しまれてきましたが、一旦大雨が降ると暴れ川に一変します。昭和32年7月25日の諫早大水害では日雨量620mmに及び大雨となり、本明川沿川では死者行方不明者合わせ630名に及ぶ大災害となりました。

諫早市では、諫早大水害の翌年から水害の歴史の継承と犠牲になられた方々の御霊をお慰めすることを目的に、毎年、諫早大水害のあった7月25日には本明川の河原を23,000本の万灯で埋め尽くす「諫早万灯川まつり」が開催され、多くの市民が哀悼の念を捧げます。また、当日は、沿川の自治会等により様々な祈念の式典も開催されています。

第57回 諫早万灯川まつり 実施計画概要

- 日時
平成26年7月25日(金)午後8時00分～午後9時00分
(荒天の場合は、順延の可能性がありますので、主催者までお問い合わせください。)
- 場所
諫早市中心部を流れる一級河川本明川一帯(式典会場:高城橋上)
- 内容
・式典開会 午後8時00分 ぼん鐘、サイレン吹鳴、万灯点火、六段(琴)演奏 等
・花火打上(2,000発) 午後8時30分
- 主催
諫早市、諫早商工会議所、諫早観光物産コンベンション協会
- 問合せ
諫早商工会議所(電話:0957-22-3323)

■ 水辺のイベント情報

水辺のお店情報

水辺の遊び場情報

水辺の観光情報

水辺の癒しスポット情報

そのほかの水辺情報

【応募理由】

・諫早市では、毎年7月25日に開催の諫早万灯川まつりに市内外からたくさんの観光客が本明川沿川に来場いただきます。万灯の点火に合わせ、花火も打ち上げられるため、現在では、慰霊祭というよりも観光イベントとしての色合いも強くなっており、梅雨末期の大雨の時期に開催されるこの慰霊祭をきっかけに、もう一度市民の皆さんの防災意識の高揚を図るため、応募いたしました。

【写真の情報(撮影場所、時期、時間 等)】

- ・撮影場所：一級河川本明川(高城橋付近)
- ・撮影時期：平成25年7月25日(木)午後8時00分

【応募者】

長崎県諫早市建設部河川課
問い合わせ先：0957-22-1500(代表)